

2020年10月25日オンライン開催

日本質的心理学会第17回大会
 会員企画シンポジウム

現象学的人間科学 への招待—IHSRC 2022 に向けて

企画 : 田中彰吾 (心理学)
 話題提供 : 植田嘉好子 (社会福祉学)
 — : 村井尚子 (教育学)
 — : 渡辺恒夫 (心理学)
 指定討論 : 西村ユミ (看護学)

• 話題提供③

• 現象学的心理学の発展：当事者視点の人間科学へ向けて

• 渡辺 恒夫 東邦大学

• jcb02074@nifty.com

<内容>

• 趣旨

• A) 自我体験研究

: IHSRC (2009–2012) での発表

• B) 夢の現象学

• C) コミュ障の批判的ナラティブ現象学

• 将来展望

1

趣旨

- 分析哲学隆盛の中に現象学哲学が吸収されようとしている今日、**虎は死して皮を残す**の喩えのように、現象学の意義は心理学・人間科学の方法を残したところにある。
- 例：日本でもインタビュー調査に従事する現象学哲学者（科研「夢の現象学」での演者と哲学系の共同研究）の出現（渡辺・武内他、質心シンポ, [2019](#)）。
- フッサール、リクールら現象学哲学の方法論的遺産を使い、どんな心理学・人間科学の研究をしてどんな成果をあげるかに、今後の現象学の運命がかかっている。
- 演者自身の3テーマにわたる研究例を紹介し、現象学の真骨頂が当事者視点の研究にあることも明らかにする。

2

A) 自我体験研究：IHSRC（2009-2012）での発表

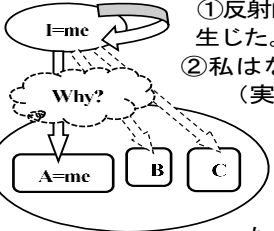
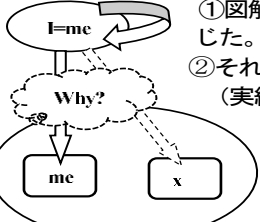
- 自我体験（I-am-me experience）は、**現象学哲学者**H.Spiegelbergが自ら高校生大学生を対象に**質問紙調査**を行い、**Psychologia**（京大教育学部刊）に載せた論文（1961）に始まる現象学的心理学の由緒あるテーマ。
- 実例：（ハイスクール生徒／女子）私は私だということに気がついたのは、5歳くらいのある日、何もしないでただ座っている時のことだった。私は、なぜ自分は誰か他の人ではなかったのかと、自問自答を始めた。この疑問はその後一週間ほど続いた。その後も時々浮かんだが、最近はあまり浮かばなくなった。（Spiegelberg, 1964 p.18）
- 演者は4年連続してこのテーマでIHSRCで発表し、*Encyclopaideia, XV*（2011）、*質的心理学研究, 11*（2012）、『フッサー心理学宣言』（講談社、2013）に纏めた。
- これを機縁に知り合ったオランダのコーンスタム（2004）” *Und plötzlich wurde mir klar: Ich bin ich*” も翻訳。『子どもの自我体験：ヨーロッパ人における自伝的記憶』（渡辺・高石/訳、2016）

3

分析法

- ジオルジらの記述現象学分析に学ぶ。
- 現象学的分析の段階進行表→次スライド
- エポケー ⇒ テクストの「一人称的読み」で**代替**
- 現象学的心理学研究におけるテキスト分析法として渡辺恒夫によって2013年に提唱された技法。**テキストをその書き手や話し手など他者の体験を記録したものとして読むのではなく、「自分自身が体験し、記録し、どこかに仕舞い込んだまま忘れていた秘密のノートに再会した」ものとして読む。**三人称で書かれている場合は一人称に変換する。（……。）一人称的読みでは**テキストの作者という他者の実在を括弧に入れ自己のありうる体験として読む**ので、異常という先入見を脱した分析ができる。フッサー現象学におけるエポケーに相当する手続きを現象学的な質的研究において果たすといえる（…）。（『質的心理学辞典』新曜社、2018、p.11）
- 本質観取 ⇒ 「内的体験の構造図解法」で**代替**→次スライド
- 「代替」によりフッサーを読まなくとも現象学的分析が使える。

4

<p>段階1) 原テキストとエポケー。 全てのテキストはエポケーの態度を以って読まれねばならない。</p>	<p>段階2) 現象学的還元。Mustakas の言う「現象の一貫したテキスト記述」へ。</p>	<p>段階3) 内的体験の構造図解。 体験の本質観取の最初の段階に当たる。 図解へのコメントは、「問題となる体験のに属する高次の不変的意味を示している。</p>
<p>事例1 (ハイスクール生徒/女子) 私は私だということに気がついたのは、5歳くらいのある日、何もしないでただ座っている時のことだった。私は、なぜ自分は誰か他の人ではなかったのかと、自問自答を始めた。この疑問はその後一週間ほど続いた。その後も時々浮かんだが、最近はあまり浮かばなくなった。(Spiegelberg, 1964 p. 18)</p>	<p>①私は私だということに気がついた。 ※この気づきが独立に生じたのか②を解説しているだけなのか記述上は曖昧。 ②私は、なぜ自分は誰か他の人ではなかったのかと疑問に思った。</p>	 <p>①反射的気づき(私=私)生じた。 ②私はなぜ自分はAであら(実線矢印で示されるに)、誰か他の人(点線矢印で示される)ではなかったのか、という疑問が生じた。 ※①、②間の関係は曖昧にとどまる。</p>
事例2 略		
事例3 略		
<p>段階4) 3事例を比較することによって本質観取された自我体験の構造図解。事例1で図解された最初の直観が、比較によって精緻化されている。 ※この図解は事例1に似ているが、1と2の時間的因果的關係が明示されている。</p>		<p>①図解の上部で、反射的気づき(私=私)生じた。 ②それから(その結果)、なぜ私は私であった(実線矢印で示されるように)、誰か他の(点線矢印で示されるような)ではなかったのか、という疑問が生じた。</p>

5

隠れ当事者研究であったことを痛感

- 高石恭子「訳者解説」『子どもの自我体験』(渡辺・高石/訳、2016)より一
- 「初期には、子どもの自我発達や認知発達の課題として、発達心理学の理論的体系の中に位置づけられようとしたが、**どのような手法で調査しても一部の子どもにしかその痕跡が確認できない**という点で、主要なテーマにはなり得なかった。それでも、何とかしてこれが**病理や特殊な天啓の類ではないことを研究者たちが示そうとしてきたのは、……研究者自身にとって自我体験が現在の自分を基礎づける重要な要素であり、もっと解明されるべき、意義ある心理学のテーマだ**と感じていたからにはほかならない。主要な研究者の公刊された著作のなかには、丁寧に読むとわかるが、**著者自身の体験が記述されている箇所が必ずと言ってよいほど見出せる**。
- 皮肉なことだが、自我体験研究を難しくしているもう一つの理由は、実はここにあるのかもしれないと思う。つまり、**自らの自我体験に魅せられた人と、体験のない(あるいは想起できない)より多数派の人々とは、このテーマへの決定的な関心のあり方の違いが存在し、相互に問題意識を共有することが難しいのである。**」
(赤字：引用者)
- 25年前に「当事者研究」の語があったなら、使っていたらろう。

6

B) 夢の現象学

- ・フッサール志向性論に基づく夢の現象学的分析を展開（『夢の現象学・入門』（講談社選書メチエ、2016）、*質的心理学研究*, 17 (2018)）。
- ・自らの夢日記サイトをデータとし、当事者研究として現象学の方法を明確化。
- ・他者の夢、例えば漱石『夢十夜』もデータとするが、「テキストの一人称的読み」で、可能的自己の体験（私が漱石であるような可能世界において私の見た夢）として分析。
- ・⇒個々の夢の意味を解釈する技法への新展開 [渡辺 \(2020\)](#)
- ・夢の物語論的現象学分析
 - 第1段階 物語構造分析
 - 第2段階 異世界分析
 - 第3段階 現象学的分析
 - 第4段階 夢の意味＝深層のテキスト（心理的現実）

7

第1段階 物語構造分析

・序幕 提示 (opening exposition phase) —— 場所, 主人公, (場合によっては) 時間の指示から成る。しばしば夢見者の最初の状況を示す。

・第二幕 展開 (development of the plot) —— 緊張が高まり夢の中の状況が複雑化する。

・第三幕 クライマックス (culmination) —— 何か決定的なことが起こるか事態が完全に变化するかする。危機 (crisis) とも言う。

・終幕 終結 (ending) —— 解決もしくは破局 (solution or catastrophe) を表わすが、往々にして欠落することもある。

(Jung, 1974)

夢事例1 「T大学そばに二階寝室がある」2019年11月10日。朝。ザワザワと賑やかな世界にいた。最後の場面しか思い出せない。

〈内容〉T大学のキャンパスを窓から見下ろすマンションの二階が寝室になっていた (事実ではない)。そこから、何かのイベントで人が集まって来るのを、眺めていた。朝だった。

トイレに行きたく、シャワーも浴びたいので、寝室内で済ませてしまおうか、それとも階下へ行くべきかと考えた。

すると、後者の考えが即、現実化し、階下へいった。母が起きていた。

そしてすぐ、二階へ戻った (考えただけで、即、瞬間移動した)。

8

第2段階 異世界分析

https://www.youtube.com/watch?v=J_NTOqBtpqM&feature=youtu.be&ref=pc_watch_description

夢を、アニメやラノベによくある「異世界転生」に見立てる。

四幕の物語構造の中から、現実と異なる・ありえない部分を抽出。

寝室の窓下がキャンパス。

考えただけで、即、瞬間移動(2度)。

故人が生きている。



9

第3段階 現象学的分析

- 異世界分析で抽出された「ありえない出来事」(夢テキスト)を、四つの「**夢世界の原理**」で「ありえる出来事」(**心理的現実テキスト**)に復元。
- 夢世界の原理①現実世界では、想起・予期・空想などの「思い浮かべる」意識は二重構造を備える。「思い浮かべられた当の対象像」と、「思い浮かべているに過ぎない」という暗黙の気づきと。夢世界ではこの暗黙の気づきが消滅して、二重構造が一重になるため、過去や未来や架空存在を思い浮かべると、「思い浮かべられた当の対象像」だけになってしまう。つまり、それらを「現に知覚し体験している」のと同じことになってしまう。
- ②③④→次スライド

10

夢世界の原理（続）

- ②現実世界での小説や映画の鑑賞も二重構造の意識を備える。現実ではたとえ『ハリー・ポッター』に夢中になっても「フィクションにすぎない」という暗黙の自覚がなくなることはない。夢では意識構造が一重なので自覚が失われ、現にハリー・ポッターとして魔法学校の授業を受けていたりすることになる。
- ③現実世界での反実仮想も夢世界では現実となる。「もしもアメリカに留学していたら今頃外資系で働いていただろうに」という思いは、夢では「もしも」「だるうに」が取れ、実際に留学して外資系で働いていることとして実現する。
- ④ 現実世界での「まるで……かのような」も、夢世界では「現に……である」となる。落ち込んだり舞い上がったたりしても、現実には、まるで落ちこんだり舞い上がったたりするかのような過ぎないが、夢では「まるで」も「かのような」も取れて、現に落下したり空を舞ったりすることになる。参 Lakoff(1993,1997)。Root metaphor。「話が通じる」「責任が重い」etc.

11

第4段階 夢の意味（心理的現実） ＝深層のテクスト

- 第3段階で「復元」された複数の「心理的現実テクスト」を、夢見者の生活歴的情報を参考にまとめ上げる。
- 夢全体が、心理的現実を表わす深層のテクストへと変換される。これが夢の意味。
- ⇒誰でも明日からネットで始められる夢研究へ
- 「夢の物語論的現象学分析一手作りの科学としての夢研究をめざして」『質的心理学研究、印刷中』

・夢事例1

- 私はリタイアしてかなり経つが、T大学での学究生活をまるで寝室から見下ろせる場所にあるかのように、今でも身近に感じている。また、母の生前に定期的に泊りにいっていた古い家に行って二階に泊まると、今でもまるで母が階下にいるかのような気がしている。
- ⇒時系列通りに夢事例5まで分析に成功。
- 解釈結果は「仮説」でなく、心理的現実への様々な「眺望」

12

C) コミュ障（人づきあいが苦手）の批判的ナラティブ現象学—インターネット事例に基づく当事者視点の研究（質的心理学研究, 2019）

- 「人づきあいが苦手」で検索したネット相談事例をラングドリッジ『現象学的心理学への招待』のCNA（Critical Narrative Analysis）の簡易版で当事者視点から分析。
- 相談事例での、質問—レス—応答、のテキスト連鎖を、相談者（当事者視点の読者も、研究者も！）が「地平融合」によって「本質観取」に達する過程として分析。⇒
- （事例4）「人と上手に接することができない方が同じように悩んでも、頑張って生きていると思うとなんだかほっとしました。皆さんのレスをじっくり読んで、考えたことを少しだけ書かせてください。
- 私が人嫌いなのは、人の顔色を伺ってしまうからです。相手が機嫌よく楽しくしてくれないと、私が不安になってしまいます。相手は今どう思ってるかな、こうして欲しいかな、こう言って欲しいのかなと思って心にもないことを言ったり……自分がその瞬間を楽しむことより、その場が皆にとって楽しい時間になるように心を砕いてしまいます。だから人といるのが苦痛です。」

13

ナラティブ分析（リクールを分かりやすく言い換え）

- 垂直的ナラティブ：当人より専門家の方が体験の意味を知っている
 1. 社会のせいナラティブ（マルクス主義的）
 2. 親のせいナラティブ（精神分析的）
 3. 脳のせいナラティブ（医科学的）
- 水平的ナラティブ：ものの見方を変えることで即座に実行可能
 - 「共」のナラティブ
 - 「独」のナラティブ
- 予想に反してレスの質量とも、
- 水平的 > 垂直的、独 > 共
- 水平的 / 独、のナラティブ例
 - 「仕事で居場所を作るには、一つでも得意な事に没頭すればよい。プロフェッショナルに徹底できれば誰かが注目する。話しかけられたら満面の笑みで自信をもって答える。その繰り返しの努力で居場所ができますよ。」（事例3、レス3）

14

オモテ社会とネット社会で「コミ障」は180度意味が違う

- オモテ社会（医療教育マスメディア）：自閉性スペクトラム障害（ASD）圏（発達障害）。共感性の遅れ「他者の心が読めない」「空気が読めない」。
- 他から気づかれやすい。
- 対処法⇒スキルアップ
- ネット社会：「他者の心を読みすぎ自分自身を意識しすぎ」「空気読み過ぎ」の対人関係過敏が対人回避を招いている。社交不安障害（対人恐怖）、回避性パーソナリティ障害、HSP（from Pop-psychology）。
- 気づかれにくい（本人だけが苦しむ）。
- 対処法⇒スキルダウン
- 相談事例へのレス（水平的/独のナラティブ）によって本質観取された、スキルダウン対処法—
- 「要求水準を下げて対人ストレスの少なそうな環境を選び、何かに没頭することを通じて必要最小限に受ける対人刺激に知らず知らずに慣れてゆき、気がついたら居場所を何とか確保していた。」
- スキルアップは最悪の対処法！

15

なぜ臨床・対人支援研究でなく当事者研究なのか？

- 対人関係過敏があると対人支援職に就くハードルが高くなる→
- 対人過敏の問題を「対人鈍感」な人々に委ねる結果になって良いのか？←
 - ・薬物療法、認知行動療法、対人関係療法、等、医療化*への疑問
- * SAD登場時の製薬会社の喧伝「あなたはシャイなのではない、病気なのです」 cited by Lane (2007) ⇒SSRI処方へ
- 女性臨床心理士の例——大学の心理学科に入学して自分がSADであると知り、精神科を受診しカウンセリングを受けるようになった。薬も服用したことがあるらしい。それにとどまらず、同じような苦しみを抱えた人の役に立ちたいと、臨床心理士になった。けれども仕事がうまくいかず、自分のような人間が治療をすること自体、罪であるとさえ思いつめ、ビルの屋上から身投げして果てる(磯部, 2007)。
- 対人障害を主訴とする心理的なトラブルで、当事者がその経験を生かそうと対人支援専門家をめざすことの、陥穽を示す例？

16

将来展望

- 【回顧的反省】 なぜテーマごとに異なる分析法を工夫したのか？
 - 自我体験研究: 内的体験の構造図解法 ← 個別的な回想テキストの集積
 - 夢の現象学: 志向性分析を中心とする物語論的現象学分析 ← 夢テキストの分析
 - コミュ障: 批判的ナラティブ現象学 ← ネット上の相談事例(質疑応答テキスト)
- データ構造が違えば分析法も違ったものになった……
- 【将来展望】
 1. 日記サイト活用で、「誰でも明日からネットでできる手作りの科学としての現象学」の構想。夢以外にも、種々のマイノリティ体験、パニック、恐怖体験、超常体験(オーラが見える等)、等。
 2. 当事者視点の研究による医療化への抵抗。
 3. 心理学史・哲学史の書き換え: 『経験的立場からの心理学』(ブレンターノ、1874)によって出発した現象学は、哲学的現象学への寄り道をへて、一世紀半の後、**最も心理学らしい心理学**として元の鞘に戻りつつある。

17

- ジョルジ, A. (2013) 心理学における現象学的アプローチ—理論・歴史・方法・実践 (吉田章宏, 訳). 新曜社. (Giorgi, A. (2009). *The descriptive phenomenological method in psychology: A modified Husserlian approach*. UA: Duquesne University Press.)
- 磯部潮 (2006) だれも知らなかった「社会不安障害 (SAD)」という病気. 講談社 (講談社 α 新書).
- Jung, G. C. (1974). *Dreams: From the collected works of C.G. Jung, vols. 4, 8, 12, 16*. Trans. R.F.C.Hull. Princeton U. P.
- Lakoff, G. (1993) How metaphor structures dreams: The theory of conceptual metaphor applied to dream analysis. *Dreaming*, 3, 77-98
- Lakoff, G. (1997) How unconscious metaphorical thought shapes dreams. In D. J. Stein (Ed.), *Cognitive Science and the Unconscious* (pp. 89-119). Washington DC: American Psychiatric Press.
- レーン, Ch. (2009) 乱造される心の病 (寺西のぶ子, 訳). 河出書房新社. (Lane, Ch. (2007) *Shyness: How normal behavior become a sickness*. Yale University Press.)
- [ラングドリッジ, D. \(2016\) 現象学的心理学への招待——理論から具体的技法まで \(田中彰吾・渡辺恒夫・植田嘉好子, 訳\). 新曜社. \(Langdridge, D. \(2007\). *Phenomenological psychology: Theory, research and method*. Pearson/Prentice Hall.\)](#)
- Spiegelberg, H. (1961). On the 'I-am-me' experience in childhood and adolescence. *Psychologia* (Kyoto), 4, 135-146.
- Spiegelberg, H. (1964). On the 'I-am-me' experience in childhood and adolescence. *Review of existential psychology and psychiatry*, 4, 3-21,
- [高石恭子 \(2016\) 「訳者解説——自我体験研究の展望」『子どもの自我体験：ヨーロッパ人における自伝的記憶』\(コーンスタム著、渡辺・高石/訳、金子書房\)](#)
- 渡辺恒夫 (2016) 夢の現象学・入門. 講談社 (講談社選書メチエ).
- 渡辺恒夫 (2018) 他者になる夢の現象学的解明——フッサール志向性論に基づく主題分析. 質的心理学研究, 17, 66-86.
- 渡辺恒夫 (2019) . コミュ障 (人づきあいが苦手) の批判的ナラティブ現象学——インターネット上の相談事例に基づく当事者視点の研究. 質的心理学研究, 18, 176-196
- [渡辺恒夫 \(2020\) エディトリアル 手作りの科学としての夢研究. こころの科学とエピステモロジー, Vol. 2, 1-8.](#)
- [渡辺恒夫・岡田齊・武内大・小野純一 \(2019\) 「夢の現象学：学際的アプローチ」日本質的心理学会第16回大会会員企画シンポジウム. 未公開.](#)

18